

令和6年3月17日更新

育ちの王様取り扱い方について

まず基本的な使い方や方法についてご説明させていただきます。

育ちの王様ファインパウダーレスベについて

水槽60Lに対し飼育水100CC程をコップに取り、育ちの王様を付属マドラー軽く1～3杯入れ、良くかき混ぜると、緑色の水になります。

それを金魚ちゃんの水槽に入れて上げてください。

餌と認識するまで、少し時間がかかる場合もありますが、慣れてくると水を食べ活性は水換えした直後並みに上がります。

水中の王様が無くなると水は元の色に戻ります。

免疫力は上がり、泳ぎ回り出します。

金魚ちゃんを早く大きく育てたい場合は、王様で活性を上げ、炭水化物の入ったメイン餌を与えると良いですが、頻繁に水換えが必要となります。

王様だけ与え育てると、大変元気で病気になりにくく、泳ぎ回る事で特に転覆しづらくなり、魚体の大きさや健康状態を維持する事ができます。

フンは黒っぽくなり、浄化濾過機スポンジフィルターだけを週1～2回洗う程度で、水換え頻度は減らせます。(夏季は水換えすることをおススメします)

黒いフンは、金魚がある程度食べ、水槽内にはフンが残りにくくなるので、細菌繁殖は大変しづらくなります。

また3～4日「留守」にする際には、餌切りを5日ほど前から行い、そして水換えし、留守にする当日に、王様を3～4日分水で溶き、緑色の水にしておけば留守中、水に溶けた王様を食べ続けます。

王様は水槽が真っ黒になるくらい入れても金魚は元気ですが、水が軟度になるので、水槽は「泡」がたちますが、最終的に水は「茶褐色」もしくは「半透明」になります。

注意点は4点です！

1. 水温が25℃以上になる場合は、※溶存酸素量（採取された水に、どれだけの濃度で酸素が溶存しているかということである。水域における水質の指標として用いられ、溶存酸素量が高いほど、水質は良好とされる。）を多めに出来るように**エア**を**強めにしてください**。夏場は酸欠になる可能性がございます。
2. 水温25℃以上で育ちの王様を入れ過ぎた場合、金魚が1～2日で食べきれず水から臭いがする可能性がありますので水換えをおススメします。
3. 室外飼いされる場合は、日に当たると青水になり、夜中に二酸化炭素（CO₂）を発生させ、製品の力が害され、金魚が酸欠になる可能性がありますので、ご注意ください。
4. 上部ろ過フィルターや外掛けフィルターなどに「活性炭」入りのろ過マットをお使いの場合はその効能効果が薄れたり、ろ過マットが目詰まりし、水が溢れ出る可能性がございますのでご注意ください。

針仔の場合はブラインシュリンプを「使わなくても」育ちの王様である程度育てられますが、ブラインシュリンプを併用し使う方が成長は早くなります。

針仔に与える目安は、水の色がエメラルドグリーン色を保っておくと餓死せず、水に育ちの王様が存在している状態です。

水は軟度になり泡がでますが、針仔が食べて行くと泡も消え水は澄んできます。

11～2月頃だと、水温20℃の前後2℃くらいが良く水換えは2日に1度は必要だと思います。（針仔の数で育ちの王様を入れる量は変わります。）またスポンジフィルターを入れておくと水換え頻度は減らせます。

育ちの王様 大粒の使い方

肉食魚以外の全ての魚類、甲殻類に使用可能です。1粒約200mgです。

冷凍赤虫100gと大粒の数、約14～15粒（同等の栄養量）という、弊社並びに各地の養魚場での検証結果です。

魚の大きさにより、大粒を菓割りかハサミ等で適度な大きさに割りお与えください。与え過ぎると水は透明から緑色そして茶褐色になります。

活性が上がり、免疫力が向上し慢性疾患予防、感染症予防、長寿作用を促します。

1/2、1/4、1/8 でお使い頂くのが良いです。大型魚はそのまま与えてください。

弊社の製品は色々ありますが、「エサ」と捉えず、主要の使い方は【サプリメント】としてお考え下さい。

ご質問等ございましたらインスタグラムDMよりご連絡くださいませ。

株式会社 RB ジャパン